

米軍属による女性殺害遺棄事件 絶対に許せない！ 全基地撤去へ！

冲大学生自治会は反戦ストライキで闘います！

米軍属による女性殺害遺棄事件を絶対に許すことができません！なぜ私たちと同年代の若い仲間が命を奪われなければならなかったのか。なぜ事件を防げなかったのか。胸の張り裂けるようなくやしさと怒りでいっぱいです。

事件が新聞などで明らかになった時、私たちは、自治会執行部選挙の真っ只中にありました。学生のビラまきや集会を禁止する沖縄大学は、これに反対する自治会に敵対し、選挙にあたっても、職員が暴力でもって学生の投票を妨害してきました。

しかし、候補者団は、この事件にどう向き合うのか冲大生と議論しながら必死に考えました。そして、「全基地撤去！」の怒りを鮮明にキャンパスに立ちました。「僕らと同世代の女性が殺された。他人事ではない。全基地撤去しかない。しかし冲大当局は学生が反戦反基地の主体となることを否定する。『最悪のタイミングだ』と事件の火消しに奔走する安倍政権と何が違うのか！この現実を変えたい！冲大反戦ストで沖縄全島ゼネストを切り開く闘いをしよう！」とクラスやキャンパスで訴えました。

冲大職員は、「事件を利用するな！」と言って、学生の議論や投票をますます妨害してきました。私は、仲地博学長に対して直接、「女性遺棄事件が起きているのに、反戦反基地のビラもまけない。



沖縄大学学生自治会委員長
赤嶺知晃
法経学部 4年生

学生が議論もできない。こんなキャンパスでいいのか！」と問いいただきました。すると、仲地学長は、「それでいい」「規則だから」と言い放ったのです！本当に許せません！

しかし、冲大生は真剣に考えて投票してくれました。職員の前でも堂々と投票する学生、「基地問題や今回の女性殺害事件は、他人事ではありません。

…皆さんの力で止めましょう！」と投票を呼びかける学生など、みんなの思いが集まり、ついに3桁の投票、7割近い信任となりました！

冲大生の思いは、すべての基地の撤去であり、反戦ストライキです。冲大自治会は全島ゼネストを切り開くために先頭で闘う決意です。



選挙期間中、クラスで反戦ストを訴える赤嶺君

沖縄大学学生自治会

mail okidaijichikai@gmail.com
blog <http://okidaijichikai.blogspot.jp>
twitter @okidaijichikai



戦争狙う安倍やオバマが元凶

これは、「戦争の島・基地の島」の現実が引き起こした事件です！ 沖縄では、戦争が起こるたびに米軍による凶悪事件が多発してきました。今回の事件も3月の事件も、安倍やオバマが米日韓による北朝鮮体制転覆の侵略戦争を狙い、沖縄が米韓合同軍事演習の出撃基地に使われるなかで起きました。アメリカの若者を戦争のための「殺人者」にしていくな米軍基地がなくなる限り、今回のような事件を防ぐことはできません。沖縄の怒りを踏みにじり、新たな基地建設と戦争を狙う安倍やオバマこそ最大の加害者です。

全基地撤去へ反戦ストで闘う

沖大の仲地学長は、新聞などで「新基地建設反対」などと表明する一方、学内では学生が立ち上がることを徹底的に弾圧しています。事件に抗議して嘉手納基地前に4000人が集まった5月25日には、國吉正人学生支援課長が沖大生に電話をかけて「自治会と一緒に県民集会に行ってるのか？」と問いただし、脅すということまでやっています。こんな欺瞞、戦争加担があるでしょうか！

この県民大会も、「知事も参加できるように」として、スローガンを「全基地撤去」ではなく「海兵隊の撤退」に引き下ろしています。絶対反対で闘わず、命の問題を切り縮めるこうした「政治」のあり方が、復帰闘争や21年前の原点を混迷させてきたのではないのでしょうか。

今必要なのは、二度と事件をくり返さないために、「基地との共存」を成り立たせてきた欺瞞やごまかしを許さず、絶対反対、実力で闘うことです。基地労働者を先頭に闘われた1971年沖縄全島ゼネラル・ストライキ（全社会的な一斉スト）を今こそよみがえらせましょう！ 基地機能を止め、ベトナム戦争に爆撃機が飛べなくなったゼネストの闘いで全基地撤去を実現しましょう！

◆私たちの闘いへの物心両面でのご支援・連帯をお願いします。自治会が主催する集会への参加や激励メッセージ、カンパも受け付けています。

★カンパ先

琉球銀行 国場支店 店番号320

口座番号438559

沖縄大学学生自治会復活会 代表 赤嶺知晃

今、韓国でもフランスでも「戦争と貧困」への怒りのゼネストが闘われ、学生・若者が先頭に立っています。戦争を止め、基地をなくす力は労働者のストライキと国際連帯にあります。私たちは、反戦ストライキで沖縄全島ゼネストの先頭に立ちます！ 7月参院選は東京で「沖縄連帯！ 全基地撤去！」を訴える鈴木たつおさんを応援して闘います！ 戦後71年たっても変わらない「戦場」として沖縄の現実を今度こそ終わらせましょう！

